



7～8月の行事予定

- 6月29日(水) 期末考査
～7月4日(月)
- 7月15日(金) 対婦恋高校定期戦
- 20日(水) 終業式
- 21日(木) AED講習会
- 22日(金) 図書館一般開放
- 25日(月) アーク溶接講習
～27日(水)
- 28日(木) ガス溶接講習
～29日(金)
- 8月 4日(木) 登校日
- 5日(金) 一日体験入学
図書館一般開放
- 23日(火) 漢字検定
- 25日(木) 2学期始業式
生徒会役員認証式
- 26日(金) 基礎学力テスト①
図書館一般開放

このたびの東日本大震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を祈念いたします。



六月十六日(木)に球技大会が行われました。今年度は昨年度のバレーボール(男女別)、卓球(男女混合)に加え、ソフトボールが復活し、熱戦が繰り広げられました。ファイナルプレーにはみんなで声をあげて喜び、ミスに対しては誰も責めることなく「ドンマイ!」と声をかけあつて励ましている姿を各種目で見かけることができました。また、自分のチームだけでなく、休憩中には他種目のクラスメイトを応援している生徒が多かったです。嬉しそうな顔、悔しそうな顔、真剣な顔：普段の授業では見られない生き生きとした

熱戦続出！球技大会

表情を見ることができました。結果は、バレーボールでは男女とも3年生が優勝し実力を発揮する一方、ソフトボールでは一年一組の打線が爆発した結果、見事優勝し、学校中を驚かせました。総合成績は、優勝が三年一組、僅差で準優勝が三年二組と、三年生の団結力が感じられる大会となりました。悔しそうな顔をしていた一、二年生には、来年、再来年とチャンスがあります。球技大会は個人の能力ではなく、団結力が勝負です。日々の生活の中でクラスの仲を深め、学校行事で一致団結する姿を見せてくれることを期待しています。



地震防災訓練が五月二十四日(火)に行われました。昨年度では火災を想定した避難訓練を実施していましたが、東日本大震災を体験した時の反省事項を再確認しながら、「大きな地震」を想定した避難訓練を実施しました。前半は各教室で担任の先生が「授業中や登下校時の対応方法」や「台風や噴火など災害発生時の対応」等を指導しました。地震で最も重要なことは、いかに生徒の安全確保をするか。その中でも頭部の保護が大切であるといわれています。今回は実際に生徒を机の下に潜らせてみました。非常にうまく十分安全確保ができていたことが分かりました。そのことだけでも良い経験となったと思います。大きな課題として保護者との連絡がつかない場合の引き渡し方法があげられます。普段から家庭でも、連絡がとれない場合はどうするか？学校の近くに避難できる場所はありますか？などを話し合っていたいただきたいと思っています。

避難訓練、机の下へ

五月二十七日(金)、長高講話(性・エイズ講演会)を行いました。今年度は、太田医療技術専門学校の根岸好男先生をお招きし、「エイズの正体はあべこう」というテーマで講演して頂きました。根岸先生は、臨床検査技師で病院や保健所での臨床経験の豊富なお話から、性・エイズ問題の現状と予防・対応について、楽しく分かりやすく教えて下さいました。本校でのエイズ講演会では、これまで医師、当事者、HIVカウンセラー、看護師と多職種の方をお招きしてきました。今回の根岸先生のお話は、また別の立場での経験を生かした大変貴重で新鮮なお話であり、私達の心に深く響きました。講演中、生徒の間に話しかけ、解答した生徒にはレッドリボン型のクリップをプレゼントして下さり、積極的に挙手して解答する生徒もいました。質問を投げかけられることで、生徒一人ひとりが、主体的に考えることができたようでした。残念な事に、エイズを含む性感染症は確実に増加しており、特に日本では二十代の感染が深刻な状況にあります。生徒には、今回の貴重な講演から得た学びを、生涯に渡って生かして欲しいと思います。

エイズの正体は...

一年生 生徒の感想文(抜粋) 中島拓馬 君
今まで、交通安全については、いろいろと知っているつもりでしたが、「交通事故で命を落とす人が、2時間で一人の割合で



事故の恐ろしさ 再確認
五月三十一日(火) 六校時相場で、日本自動車連盟(JAF)群馬支部の事業課交通環境係長 主事である松岡嘉明(よしあき)氏による交通安全教室が行われました。内容としては、事故実験の映像等があり、交通事故の恐ろしさを再確認できる良い機会となりました。

事故の恐ろしさ 再確認



いる。」と初めて聞いて正直驚きました。自分たちが普通に過ごしている時間の中でも、大切な人を亡くして泣いている人が世の中にはいると思うと、悲しい気持ちになりました。また、自分が泣く立場や泣いてもらおう立場には、もちろんなりたくはないし、自分が泣かせる立場にも、なりたくないと強く思いました。中学までは、自転車を利用して登下校していたので、交通マナーを気にしていましたが、高校に入ってから、徒歩と電車での登校になったので、軽い気持ちで歩いていました。徒歩とは言え、誤って車道に出てしまったら、そこで何もかもが終わってしまうかもしれせん。そういうことを頭に入れて、今後、気をつけて登下校したいと思っています。

それに加え、数年後には、私たちも自動車を運転することになります。そのときは、周りを見つつマナーを守り、事故をおこさないようにしたいです。

今日の交通安全教室で改めてマナーの大切さや事故の怖さがわかりました。今後も、自分が被害者、もしくは加害者になら

ないように慎重に行動したいです。

寄席ごとおもしろい



六月八日(水)芸術鑑賞教室として、影向社による「学校寄席」がおこなわれました。落語や寄席の説明のあと、三人の師匠の芸を聞くという構成です。開演前はあまり興味のなさそうな生徒たちでしたが、桂文月師匠の落語「元犬」が始まると、人間になっても犬のときの癖が抜けぬ登場人物の様子に大爆笑が起こりました。次の演目、林家二楽師匠の色物「紙切り」では、見事な鎌さばきと作品の出来栄に、思わず驚きの声を上げ、切りながらの話芸にまた大爆笑です。最後は春風亭柳橋師匠の落語「転失気(てんしき)」でした。知ったかぶりをした登場人物が大恥をかくという話で、言葉を知らないと少しわかりにくいかなという感じでしたが、みな真剣に聞き入っていました。

現代っ子には少しつまらないかと思いつつも、日本の古典芸

能を知る機会にと思い企画しましたが、生徒たちは大いに楽しんでくれたようです。また、図書館では、これに合わせて落語に関する本を展示しました。国際化の時代と言われていますが、真の国際人とは、自国の文化を語れる人だと思えます。これをきっかけに日本の文化である落語やほかの古典芸能に興味を持つ生徒が増えてくれることを願います。

◀その場でヤマすけの完成



知らない薬は絶対買わない!

六月二十七日(月)の午後に、小林賢二先生よりユーモアを交えて楽しく喫煙防止教室の講演をしていただきました。小林先生は、長野原高校がまだ吾妻高校の分校だった頃に、本校の教員だったこともあり、開口一番「元気がないなー」という言葉が印象的でした。

前半は薬物についての話であり、身近なところ薬物がせまっているという内容の中で、「都会の若者が応募地区で大麻を栽培している、大きくなると刈り取りにくる」という話に大変驚

きました。喫煙の話では、ニコチンは血管を細くさせるという実験で、実際にミミズをニコチンにつけて伸ばせて見せていただきました。私自身は何度か目にした実験でしたが、生徒には非常に分かりやすく、ニコチンという物質の恐ろしさを肌で感じる事ができたのではないのでしょうか。



生徒の感想文の中には「非常に楽しく聞けた。」「実験や映像が多く分かりやすかった。」「このような感想が多かったです。最後に「どこの学校よりもよく聞いてくれありがとう。」「という先生の言葉がうれしかったです。」

ニコチンの中のミミズ



献血に協力しました

七月五日(火)の午後に献血車での校内献血が行われました。震災の影響で、国内で使用する輸血等の血液が足りないというなかで、二、三年生二十七名の生徒が申し出てくれました。

初めて献血をする生徒は、少々心配顔で車に入り、実際に献血をしている友人の様子をじつと見ていましたが、いざ自分の番になると緊張した面持ちの中にも『今、他の人のために自分ができることをしたい。』という責任感みいたなものが感じられました。無事に終わった生徒たちの充実した表情は、とてもステキでした。



★次回は、嬭恋高校との定期戦の話題を中心にお伝えしたいと思います。お楽しみに……



『学校通信ヤマすけ』は5月・7月・9月・11月・1月・3月の年6回発行されます。学校行事や部活動など、盛りだくさんの広報誌です。長高ホームページでもカラーで紹介しています。URLは、<http://www.gsn.ed.jp/gakko/kou/naganohara/> です。ぜひ見てください。※『ヤマすけ』は、長高のマスコットです。皆さん可愛がってくださいね。

